

進んで身体を動かし、体力の向上に向けて意欲的に取り組む生徒の育成

テーマ	低下傾向にある種目に対する体力向上の取組		
全校生徒数	514名(男子249名 女子225名)		
全クラス数	18	教職員数	37名(内体育科3名)
体育推進教員名			森山 弘樹

大分県日田市立三隈中学校

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆体力テストにおける本校の課題

昨年度実施した体力テストの結果より、本校の課題は、握力(筋力)、一昨年(50m走、20mシャトルラン)等をいかに高めていけるかである。また、運動部活動生や社会体育等で活動している生徒は日常的に運動しているが、その他の生徒も体育や学校の諸活動の中で楽しく運動に親しみながら、体力向上に向けていかに意欲的に取り組ませるかも課題である。

2 取組の計画

① 三隈アクティブタイム(学年小運動会・クラスマッチ等の実施)

身体を動かす場を設定し豊かでたくましい心と体を養い、体力の向上・健康増進に主体的に取り組ませるために、生徒会を中心に三隈アクティブタイムを企画・運営させ、主体的・積極的に活動させながら体力の向上を図る。

② 体育授業の充実・学期ごとに体力テストの実施

体力テスト(5月:全種目 12月・1月:全国平均より下回った項目)を実施し、その結果の分析から授業の中で補強運動を実施する。また、主体的に運動に取り組める生徒(アンケート実施)の実態を把握し、苦手意識を持っている生徒の指導を工夫する。

③ 部活動の充実

部活動目標を設定し掲示することによって意識の高揚・日常の目標確認ができる環境を整える。

Do：実践内容

1 三隈アクティブタイムの実施

(1) 体力テストにおける本校生徒の体力の実態より、学年小運動会・クラスマッチを実施

①各学年クラス対抗小運動会

・走力(瞬発力)を高められるような種目を取り入れた。

③ スポーツフェスタ(他学年との交流、歓迎遠足)

・筋持久力・巧み性を高められるよう歓迎遠足(5月)に実施した。

(2) 生徒会(保体部)による全校ストレッチングの実施

・10月と3月に複数学年にて学級対抗クラスマッチを行った。

2 体育授業の充実・体力テストの実施

(1) 体力テストの結果を分析し、授業の中で補強運動を実施

・筋力アップ・・・腕立て伏せ、V字腹筋

・瞬発力アップ・・・20m各種ダッシュ

(2) 体力テストを学期ごとに実施

・5月:全種目 7月握力など複数種目実施

3 部活動の充実に向けての取り組み

(1) 部活動目標の設定・掲示

・夏季・冬季、または大会前に各部活動の目標を具体的内容で記述・作成させ、常に目に入る1階フロアに掲示した。

(2) 部活動生集会・キャプテン会議の実施

・部活動生としての態度・礼儀について、また体力の意義・体力の高め方等について理解、確認させる場とした。

●工夫したこと(&苦労した点)

①三隈アクティブタイム

・体力テストの結果を各学年の教職員・生徒に知らせ、学年生徒会を中心に企画させる段階で、種目内容や方法について助言やアドバイスを行った。(学年の保健体育科と生徒会担当との連携)

②体育授業の充実・学期ごとの体力テストの実施

・1学期の体力テストは、学年ごとに全体で時間を確保し、実施した。その際に学年の教職員にも協力してもらい、組織的に取り組めた。年間を通した補強運動と種目に応じた補強運動を、体力テストの結果から体育の授業で実施してきた。

・ICT機器を利用し、生徒が視覚から動きを理解し、修正・習得できる機会を授業に取り入れた。

Check：取組の成果

① 生徒が主体となって、三隈アクティブタイムに取り組むことによって、運動する機会や運動に親しむ機会を多く持つことができた。「運動が好き」と感じる生徒(肯定的な考え)も男子86.1%であり、昨年度と比較して0.6%伸びたことは成果である。

運動愛好度 男子91.4% 女子83.5%

(昨年運動愛好度 男子89.32% 女子81.72%)

② ICT機器を活用した体育授業では、身体の動き(動作)を視覚からイメージさせ、理解を深めさせることができた。

③ 本校は運動・スポーツへの愛好度が高い。三隈アクティブタイムや体育の授業、スポーツフェスタなど様々な活動で「運動が好き」と感じる生徒が増えている。

Action：今後の課題

① 全国的に体力テストの平均値も向上しており、体力向上の一つの目安として、本校も平均値の向上に向けて、さらに効果的な取組が必要である。体力テストの結果では、昨年と比べてやや低下している。体育の授業の補強運動や部活動等の取組を通して体力の向上を図っていきたい。特に1年男子、2年女子においては、体力向上の強化を図る必要がある。

(本年度全国平均を上回った項目：19/48項目)

(昨年度全国平均を上回った項目：31/48項目)

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

生徒や教職員が常に意識をもって、諸活動に取り組めること

体育授業の様子

前時の動きを確認中
～タブレット&TVを利用して～



歓迎遠足でのクラス対抗大縄跳びの様子



毎週水曜日

朝の学活前に生徒会保健部が放送でリードし全校ストレッチングを実施。

全クラス一斉に

「イチ・ニ・サン・シ……」

朝から気分もさわやかになります。



部活動の目標
視覚化することで意識の向上を図る。

体力テストの結果

□1学期実施(5月)全国平均値(平成30年度)を上回った項目(19/48項目)

男子	項目	女子	項目
1年	長座体前屈 1項目	1年	握力 上体起こし 反復横飛び シャトルラン 50m走 ハンドボール投げ 6項目
2年	上体起こし 長座体前屈 50m走 ハンドボール投げ 4項目	2年	0項目
3年	長座体前屈 反復横跳び 50m走 立ち幅跳び ハンドボール投げ 5項目	3年	反復横跳び 50m走 ハンドボール投げ 3項目

ICT機器を活用した授業風景



体力テストランキング



体力テストベスト10の掲示
個人ベスト10と部活動ごとに
ベスト5を掲示